

授業科目 公衆衛生看護学実習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
宇田 優子、小山 歌子、杉本 洋、 稲垣 千文、小林 房代、和田 直子		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 地域の特性やそこに暮らす人々の日常生活や考え方の理解を深めるとともに、地域看護診断方法を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地区踏査から環境・社会資源や暮らしの実際等を把握できる。 2. 地域で生活している人々と交流し、日常生活や健康に関する考えを聞くことができる。 3. 既存の資料と上記1～2の学びから地域の健康課題と地域特性を関連付けて考えることができる。 4. 地域看護診断方法を習得する。 5. グループ運営に積極的に参加し、実習の学びを発展させることができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	家庭訪問や、住民活動への参加を行う。 地区踏査や人々との交流を通して得られた情報を、人々の日常生活や考え方と結び付けて考察する。 既存資料を調べ、情報を得、実際に観察した内容と統合させ、地域の特性を考察する。 把握した地域特性をもとに、対象地域の健康課題を考察する。 公衆衛生看護活動を考察する。			2 1～3 3 4 1～5	担当：宇田 優子 他 担当：宇田 優子 他 担当：宇田 優子 他 担当：宇田 優子 他 担当：宇田 優子 他
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 実習態度、記録等を総合して評価する。			【履修上の留意点】 2年次前期科目「公衆衛生看護活動演習Ⅰ」の演習内容をもとに実習を行う。		